

氏名	吉川 知伸
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博 甲第 5813 号
学位授与の日付	平成30年9月27日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科 病態制御科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Birth Order and Pediatric Allergic Disease: A Nationwide Longitudinal Survey (出生順位と小児期におけるアレルギー疾患：全国縦断研究)
論文審査委員	教授 増山 寿 教授 鶴殿平一郎 准教授 木浦勝行

学位論文内容の要旨

出生順位は出生後の環境を反映し、アレルギー疾患発症に大きな影響を与える因子であることが様々な研究から示されている。本研究では2001年の特定の2週間に日本全国で生まれた児47,015名を対象に出生時から12歳まで計14回施行されたアンケート調査結果を用いた。第1子、第2子、第3子以降の出生順位と各々のアレルギー疾患について解析を行い、リスク比を算出した。95%信頼区間を用いた。子どもの性別、単胎か多胎かどうか、早産の有無、保育所利用、母親の年齢、母親の喫煙、両親の最終学歴で調整を行った。結果は、第1子と比較し、第2子、第3子以降は、気管支喘息は幼少期に有病率が上昇したが学童期には低下し、食物アレルギーでは幼少期の有病率が低下したが学童期以降では同等であり、アトピー性皮膚炎は有病率が増加していた。本研究より、出生順位がアレルギー疾患発症に及ぼす影響は、各々のアレルギー疾患と年齢により異なることが示された。

論文審査結果の要旨

出生順位は、出生後の環境を反映してアレルギー疾患発症に大きな影響を与える因子であることが様々な研究から報告されている。

本研究では、2001年の特定の2週間に日本で出生した児47,015名を対象に出生時から12歳まで計14回のアンケート調査を用いて出生順位とアレルギー疾患（気管支喘息、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎）の関連を解析したところ、出生順位がアレルギー疾患発症に及ぼす影響は各疾患と年齢により異なることが示された。

委員からは、アンケート調査であり疾患の診断の正確性の問題や各疾患発症機序に関する仮説について質問があった。本研究者は、アンケート調査であるが、日本では皆保険制度のもとで受診機会が確保され小児科医により診断されていること、またあくまで仮説であり今後のさらなる検討が必要と回答した。

本研究は、出生順位とアレルギー疾患の関連を大規模かつ縦断的に調査した初めての研究であり、重要な知見を得たものとして価値ある業績と認める。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。